

「年輪」



No.843 令和3年(2021)11月29日(月) 2021-48号

発行責任者:院長 澤田勝寛
isonare@ka2.so-net.ne.jp

人生に確かなことなんてない
それだけが確かなことなんだ

No.843

◆コロナ関係

日本の新規感染者は11月26日の時点で121人にまで減少し、非常事態宣言解除後も危惧した感染拡大は起こっていません。

南アフリカで新たな変異株が確認され、渡航制限などの水際対策が強化されています。新しい株の名称はB・1・1・529、いずれもう少し分かりやすい名称が付くと思います。昔は、スペイン風邪というように土地の名称を付けていたわけですから、新型コロナも、武漢株にはじまり、アルファは英国株、ベータは南アフリカ株、ガンマはブラジル株、デルタはインド株と呼ばば、分かりやすいと思いののですが、色々な力が働いてギリシャ文字で表記するようになったようです。次はイプシロン、シグマ、カッパと呼ばれるのでしょうか。

◆年末交通事故防止運動のお知らせ

12月1日(水)から10日(金)までの10日間
重点項目

- ①子どもと歩行者をはじめとする歩行者の安全確保
- ②高齢運転者の安全運転意識向上
後部座席のシートベルト、チャイルドシート
- ③飲酒運転、あおり運転の根絶
- ④夕暮れ夜間の交通事故防止
- ⑤自転車の交通ルールマナーの周知徹底

◆私の本棚

この国の希望のかたち

伊勢正臣 グッドブックス

著者は、日本の伝統文化などを発信し続けている、日本のオピニオンリーダーのひとり。グローバル化の優等生として発展してきた日本は、その結果として都市集中、環境破壊、国民所得の低下、格差の拡大といった弊害を生み出してきた。

今こそ、日本古来の良さを見直し、農林水産業といった一次産業を救うことで、これからの人口減少も乗り越えることができると数々の提言をしている。日本資源とは、森林、水、海であり、法隆寺を例にあげてコンクリートよりも優れた木の耐久性を述べ、電力不足を補うためには太陽光発電よりは小型水力発電が優れているなど、具体的な方法を多数述べている。

読むと、なにか日本の将来に展望が開ける感じがする良書です。



慈恵会グループの紹介⑨

新須磨リハビリテーション病院

新須磨病院の病床44床を分割移転し、2007年に設立しました。全床、回復期リハビリ病床で、急性期から在宅への中間施設として、密度の高いリハビリを行なっています。

屋上には迷路があり、リハビリを兼ねて散策する患者さんや職員にも、癒しの空間となっています。

質の高いリハビリと優れた療養環境は、新須磨病院のみならず、他の急性期の病院からも信頼されています。老健施設「いきいきの郷」は併設施設で、医療から介護への間断のないサービス提供も特徴のひとつです。

平成29年、12床の増床が認められ、56床となりました。



いい言葉

幸福とは 向田邦子

素顔の幸福は、シミもあれば涙の痕もあります。思いがけない片隅に、不幸の中に転がっています。屑ダイヤより小さいそれに気が付いて掌にすくい上げることのできる人を、幸福というのかもしれない。

数々の名ドラマの脚本をかき、多くのエッセイを残しながら、航空機事故で早逝した向田邦子さんのエッセイが今ブームになっています。父の詫び状などを読み返すと、本当に引き込まれます。

◆今週の院長予定

11月29日	月	8:00運営会議、19:00来客
11月30日	火	9:00外来、14:00手術、16:30神戸大学本部
12月1日	水	松江
12月2日	木	9:00~12:00来客
12月3日	金	9:00外来、14:00手術
12月4日	土	9:45新須磨クリニック



神戸で一番

親切で

安全で

最高の医療を!

